

世界が進むチカラになる。



全銀ADPサービス 仕向送金受付(外為XML)移行 概要ご案内

目次

I. はじめに	3
II. 貴社内での情報共有のお願い	5
III. 新ADP外為サービスとは	7
IV. 移行スケジュールについて	12
V. 更新履歴	14

I. はじめに

I. はじめに

ご高承のとおり、この度、株式会社NTTデータが、2024年下期にISO20022対応版のAnserDATAPORT®を提供すると発表しました。

これを受け弊社では、AnserDATAPORT®を利用した外国送金依頼受付サービスとして、従来の「BizSTATION 全銀・ANSER 接続サービス仕向送金受付」に代わり、新しい「BizSTATION 全銀・ANSER 接続サービス全銀 ADP サービス仕向送金受付（外為 XML）」（以降、新 ADP 外為サービス）を提供します。

本書は、新 ADP 外為サービス概要及び移行スケジュール（予定）を記載しています。

ISO20022 準拠に伴い、社内システム改修等の移行作業が必要となりますので、本書を参照いただき、システム投資予算の確保など事前準備を進めていただくようお願いいたします。

新 ADP 外為サービスは 2024 年 12 月 16 日（月）にリリースいたします。同日に BizSTATION ヘルプページを掲載いたします。

2024年												2025年											
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
BizSTATION 全銀・ANSER接続サービス仕向送金受付 (2025年11月に仕向送金データ受付停止予定)																							
												</											

II. 貴社内での情報共有のお願い

II. 貴社内での情報共有のお願い

貴社内で、以下に該当する方々に本冊子の内容を共有いただけますようお願いいたします。

- (1) 通信環境などを担当されているシステム関連ご担当者

例: 全銀ADPサービスを利用して自社システムと当行サービスの接続を検討している

- (2) 送受信データを社内業務システムと連携されているご担当者

- (3) 自社以外(関連会社など)の送受信データを取り扱われている(代行送受信)ご担当者

例: 関連会社の外国送金を代わりにデータ送信している

III. 新ADP外為サービスとは

III. 新ADP外為サービスとは

1. 新ADP外為サービス「BizSTATION 全銀・ANSER接続サービス 全銀ADPサービス仕向送金受付(外為XML)」とは

外国送金を依頼されるお客さまは、新規格(ISO20022という金融サービスに関連するデータフォーマットを規定した国際標準規格)を用いた外国送金を可能とするため、2025年11月までに、データフォーマットや伝送手順の変更等を実施する必要があります。

新規格ではXMLを記述言語としている為、それに対応した新たなサービスをご利用いただく必要がございます。新サービス名は【BizSTATION 全銀・ANSER接続サービス 全銀ADPサービス仕向送金受付(外為XML)】です。

新ADP外為サービスをご利用いただくためには、接続方式やフォーマットが変更になります。

仕向送金受付以外の外為サービスは、引き続きBizSTATION 全銀・ANSER接続サービス(以降、従来のADP外為サービス)をご利用いただきます。

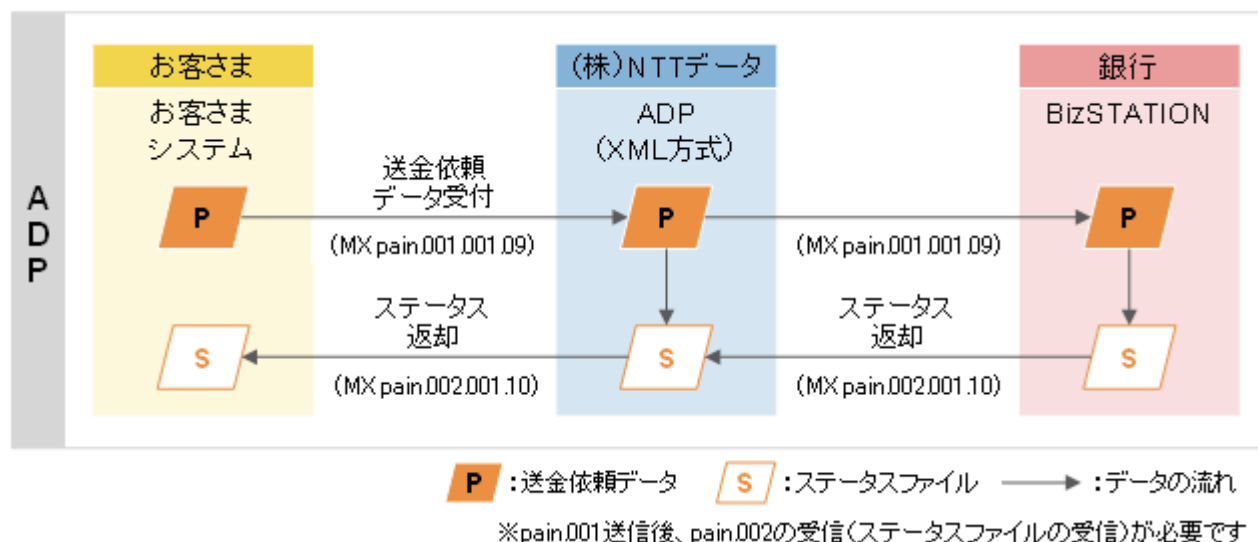
2025年11月MT送金受付停止以降の利用可能サービス(外為)		
	従来のADP外為サービス	新ADP外為サービス(外為XML)
仕向送金受付	× (2025年11月迄はデータ受信可)	○
外為取引通知	○	×
輸入信用状受付	○	×

新ADP外為サービスでは、承認方法を、BizSTATIONにログイン後の承認メニューで承認を行う「Web承認」／専用フォーマットで作成した承認データを送信する「データ照合」／依頼データの送信により取引のご依頼が完了する「承認なし」の3つからいずれかをご選択いただきます。従来のADP外為サービス仕向送金受付をご利用中のお客さまは、新ADP外為サービス仕向送金受付にて、これまでと異なる承認方法をご選択いただくことも可能です。

2. お取引の流れ

従来のADP外為サービスと、送金依頼データ(下表P)を送る流れは不変ですが、新ADP外為サービスでは、ステータス返却をする仕様(下表S)となっております。

お客さま側のシステムでも、ステータスファイルを受信するための対応をご検討ください。



3. 変更点

(1) 接続方法

	従来のADP外為サービス	新ADP外為サービス(外為XML)
通信プロトコル	TCP/IP手順・広域IP網版	JX手順

- ISO20022移行対応前にADP外為サービスにてお客さまが利用されている通信プロトコルはTCP/IP手順・広域IP網版ですが、本プロトコルはISO20022標準のPain.001に対応していません。
- ISO20022移行対応後にADP経由で仕向送金受付(外国送金依頼)を行う場合、ADPで定める新しい通信プロトコル、JX手順のご準備が必要です。

(2) 文字コード

	従来のADP外為サービス	新ADP外為サービス(外為XML)
文字コード	JIS/EBCDIC	UTF-8

- 新ADP外為サービスでは、ISO20022の規定に則り、これまでの文字コードJIS、EBCDICがご利用いただけなくなりますので、UTF-8へ変更が必要です。

(3) 送金依頼データフォーマット

	従来のADP外為サービス	新ADP外為サービス(外為XML)
フォーマット	全銀フォーマット	pain.001.001.09 (XMLフォーマット)

- 新ADP外為サービスでは、送金依頼受付が全銀フォーマットから、ISO20022に準拠したpain.001.001.09(XMLフォーマット)に変わります。詳細は、BizSTATIONヘルプに掲載のフォーマットをご確認ください。

4. 今後のお手続き

(1) 新ADP外為サービス申込

ISO20022準拠の仕向送金依頼を、ADPサービスを利用して実施される場合、従来のADP外為サービスの契約とは別に、新ADP外為サービスをご契約いただく必要があります。

これに伴い、新たにBizSTATION基本サービスのお申し込みが必要となります。

※新ADP外為サービスを利用される場合、専用のBizSTATION契約が必要となるため、従来のADP外為サービスとは異なるBizSTATION契約者番号の契約となります。

※新ADP外為サービスでは、ご契約時に、本番用のお客さまセンター確認コードとテスト用のお客さまセンター確認コードの合計2本が採番されます。各お客さまセンター確認コードは、原則弊行での自動採番となりますが、本番用のお客さまセンター確認コードのみ、お客さまにて任意の番号を指定いただくことも可能です。

(2) 接続テストの実施

新ADP外為サービスご契約後は、本番稼働前に必ず接続テストの実施をお願いいたします。

接続テスト実施にあたっては、弊行で採番するテスト用のお客さまセンター確認コードをご利用ください。また事前の弊行との日程調整は不要で、テスト用のお客さまセンター確認コードを利用して、任意の日付で接続テストを実施いただけます。

詳細は、「接続テスト手順書」にてご確認ください。

(3) 従来のADP外為サービスの取止め

従来のADP外為サービス仕向送金受付をご契約のお客さまは、新ADP外為サービスにおける接続テストの実施・本番稼働後に、従来のADP外為サービスの取止めが必要となります。

5. ご利用料金(消費税込)

新ADP外為サービスお申し込みにあたっては、以下の料金がかかります。

「全銀ADP外為サービス 仕向送金受付(外為XML)」利用によってかかる料金				
	契約料金	基本料金 (月額)	追加ID料金 (月額)	センター確認コード 追加料金 (月額)
基本サービス	無料	1,760円	5件を超える利用者 ID1件につき220円	—
新ADP外為サービス	220,000円	22,000円	—	コード2件目からは 1件につき22,000円 (テスト用コードも追加 料金の課金対象です)

Ⅳ. 移行スケジュールについて

IV. 移行スケジュールについて

従来の ADP 外為サービスから、新 ADP 外為サービスへの移行スケジュール(概要)を下記に記載しています。

※ 新 ADP 外為サービスは 2024 年 12 月 16 日(月)にリリースいたします。同日に BizSTATION ヘルプページフォーマットを掲載いたします。

2024年												2025年											
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
★フォーマット ご案内(暫定版)												★2024年12月16日(月) 新ADP外為サービスリリース ★フォーマット ご案内(確定版)											
システム面	① 方針策定／ 予算化			② 詳細仕様確認						③ システム開発				④ 接続テスト		⑤ MX本番 稼働期間							
				① 詳細変更点確認						② 事務手続													
運用面																							

・ システムご担当の方

上記スケジュールの詳細のご説明は下記の通りです。

項目	作業期間	ご対応いただく内容
①方針策定／予算化	約2ヶ月～3ヶ月	開発予算見積、予算確保
②詳細仕様確認	約6ヶ月	社内システム構築に伴う要件定義
③システム開発	約6ヶ月～9ヶ月	システム構築
④接続テスト	約1ヶ月	テスト用のお客さまセンター確認コードを用いた接続テスト
⑤MX本番稼働	—	

・ 運用ご担当の方

上記スケジュールの詳細のご説明は下記の通りです。

項目	作業期間	ご対応いただく内容
①詳細変更点確認	約6ヶ月	- フォーマット仕様確認 - 各種コード(主にSWIFTコード、ISOコード)確認 - 受取人の住所構造化
②事務手続	約1ヶ月～2ヶ月	- 新ADP外為サービス申込 - 従来のADP外為サービス仕向送金受付のサービス停止

V. 更新履歴

日付	ページ	項目	更新内容
2024年8月30日	目次	—	V. 更新履歴を追記
	全般	—	新サービスの表記を新ADP外為サービスに統一
	P.10	4. 今後のお手続き	BizSTATION基本サービスの契約が必要な点を追記
	P.10	5. ご利用料金(消費税込)	項目を新設
	P.14	右下	日付を2024.08に更新
2024年11月25日	P.4	I. はじめに	2024年下期以降リリースとしていた点を2024年12月16日(月)に修正
	P.8	1. 新ADP外為サービス「BizSTATION 全銀・ANSER接続サービス 全銀ADPサービス仕向送金受付(外為XML)」とは	承認方法について追記
	P.9	2. お取引の流れ	データ送受信のフロー図右下にpain.002受信時の対応を追記
	P.10	4. 今後のお手続き	申込手続についてと接続テストに関する情報を追記
	P.11	5. ご利用料金(消費税込)	センター確認コード追加料金に(月額)を追記
	P.13	IV. 移行スケジュールについて	※の内容を修正
	P.13	IV. 移行スケジュールについて	スケジュール図内のサービスリリース日を2024年12月16日(月)に修正
	P.13	IV. 移行スケジュールについて ②事務手続	事務手続について今後ご案内としていた点を削除
	P.16	右下	日付を2024.11に更新

MEMO

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

三菱UFJ銀行
トランザクションバンキング部 商品開発Gr
外為ITソリューションチーム

2024.11